

つながりをつくる、町内会の多様なかたち

市民生活課
☎85－6617

市内には、500を超える区・町内会・自治会があり、地域のために日々多様な活動をしています。
今回は、そんな町内会の実際の様子を紹介します。

区・町内会・自治会ってなに？

区・町内会・自治会は、自分たちのまちを住みやすくするために、同じ地域に住んでいる人たちによって自主的に組織された団体です。

インタビュー



区長町内会長連合会
会長 安達明範さん

私たち町内会は、地域を良くするためにさまざまな活動を行っています。例えば、街頭監視や夜間パトロール、防災倉庫の管理を行い、安全で安心して暮らせるまちにするための活動をしています。防犯灯の維持管理も行っていて、住民から「この場所が夜になると暗い」などの意見があれば、設置に向けた話し合いをします。

その他にも、ごみステーションの維持管理などまちをきれいにする取り組みや、夏祭りなど地域住民同士がつながりをもてる場を提供し、地域のコミュニティ活動のサポート役として日々活動しています。

中には「町内会は行事が多い」「負担が大きい」というイメージを持たれる方もいらっしゃると思います。実際、行事は多いと思いますが、無理のない範囲での参加で構いません。忙しい方や若い世代でも参加しやすいように、時間などの調整もしていますので、一度気軽に顔を出してみてください。

町内会のいいところは、困ったときに助け合える身近な人ができることです。地域内でつながりがあれば、いざという時に頼りになる人がいるはずです。

町内会を通じて多くの輪ができ、安全で安心して暮らせるまちになること、そして皆さんが毎日楽しく暮らせるまちになることを願っています。

町内会が担っていること


登下校見守り

1 安全・安心なまちづくり

防犯灯の設置や維持管理、こどもたちの登下校の見守りや防犯パトロールなどをしています。地域の人同士が日頃から声をかけ合い、顔の見える関係になることは、安全・安心で住みやすいまちにするために大切なことです。


防犯灯


清掃活動

2 きれいなまちづくり

皆さんが普段使っているごみステーションの管理をはじめ、日頃から地域の清掃を行い、まちをきれいに保っています。きれいなまちでは、犯罪やポイ捨てなどが起こりにくいと言われ、安全・安心なまちづくりにもつながっています。


防災訓練

3 災害に強いまちづくり

地震や大雨のような災害に備えて防災訓練などを開催し、初期消火訓練や救命方法を学んでいます。災害時、自身で備える自助の次に重要なのは、地域住民同士で助け合う共助です。地域とのつながりを深め、共助の輪が広がることで、誰かの命を救えるかもしれません。


イベント

4 活気のあるまちづくり

盆踊りや秋まつりなど、町内会ごとにさまざまな工夫をこらし、住民同士が顔を合わせる機会を創出しています。高齢者や子育て世代など、幅広い世代の人が交流することで緩やかなつながりが生まれ、地域全体に活気や笑顔が生まれます。

魅力あるまちをめざした、特色ある取組みを紹介します

LINEの活用



町内会への加入促進や会員サービスの向上、役員の負担軽減のため、令和7年3月に町内会LINEを開始しました。

町内会LINEでは、イベントの開催案内や市役所からのお知らせ、道路工事の案内などを発信しているほか、町内会への要望や町内の学習等供用施設・公民館の利用予約を受け付けています。速やかに情報が届くことに加え、従来の回覧板での案内と併用することで幅広い年齢層で情報共有ができるようになり、イベントの参加者数も増加しました。

イベント後には、『思い出のフォトアルバム』も発信しています。大変好評で、町内会活動への理解が広まっているのを実感しています。

開設当初は、LINEを使ったことのない方への周知方法が課題となっていましたが、年に一度、役員による操作方法の説明会を行うことで、少しでも多くの方に利用してもらえるように工夫しています。

今後は、LINE WORKSやビデオ通話を利用した役員の負担軽減などに取り組みたいです。

如意申町町内会
奥山利男さん



Working Generation

現役世代の加入促進

町内会長になって以降、高齢化が進む町内会の見直しに取り組んできました。若い世代に集まってもらえるように、近隣の町内会と積極的にイベントを開催したり、町内の各戸を訪ねて40・50代の現役世代に役員になってもらうよう呼びかけたりしました。

「役員」と聞くと、大変そうと感じる方が多くいると思いますし、今と昔で働き方も大きく変わっています。そういった方々でも負担なく活動ができるように連絡をすべてグループLINEに集約したほか、備品の管理方法など従来の慣習を見直しました。見直す中で厳しい意見をいただくこともありましたが、高齢者は近所のこどもの名前が分かるようになり、こどもたちは日頃から挨拶を交わすようになるなど、地域の関係がよくなったと感じています。

今後も近隣の町内会と協力してより大きなつながりをつくり、一つ一つの町内会から盛り上げることで、春日井全体の活性化につながればいいと思っています。



まつりから生まれるまちの活性化



押沢台南町内会
伊藤定彦さん

最近は、近所の人の顔を知らないという方が増えたので、お互いが顔見知りになることでまちの活性化につなげたいと思っています。それに一役買っているのが「ブラブラまつり」です。

ブラブラまつりとは、住民やお店が庭先などを使って、飲食物やハンドメイド作品の販売やワークショップを行うイベントです。参加者は街中を「ブラブラ」歩きながら楽しみます。

押沢台地区は南町内会を含め4つの町内会があり、防災訓練や夏祭りなどを合同で行うなどつながりがあります。ブラブラまつりは4町内会のうちの押沢台北町内会が始めたものですが、話を伺いながらいろいろ参考にさせてもらい、私たち南町内会でも7年前から始めました。今年は、約600人の方に参加していただき、特にこどもたちから「楽しかった」という声があがり大盛況でした。町内会同士のつながりがあったからこそ実現できていると感じます。

イベントを通じて人と人だけでなく、周りの町内会とのつながりが増え、地域全体が明るいまちになればいいなと思います。

Festival





Social Networking Service

したが、数年かけてでも町内会を絶対によくするという思いで取り組んできました。

今では、住民同士が顔を合わ

宗法町町内会
杉山光一さん



あなたも町内会の仲間になりませんか。

加入方法

近所で町内会に加入している人に尋ねる

または

市ホームページから申し込む

ID:1029670